

PSR * Cauxプログラム2017

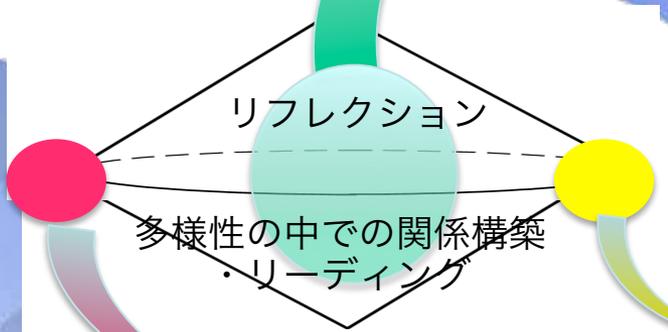
参加者の声



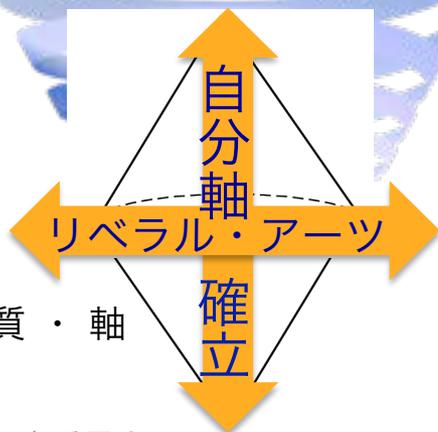
経済人コー円卓会議日本委員会

CAUX ROUND TABLE

実践 (個別コンサルティング)



異文化間における
創造的合意形成



【PSRプログラム全体像】

- (4) Cauxプログラム：6日間
(毎年7月上旬開講予定)
- (3) フィールドワーク
7日間/回 年に2回の実施予定
**アジア、ヨーロッパで
各1回想定
- (2) アドバンス・プログラム
3時間/x 6回 (隔月開催)
- (1) 8ヶ月ベーシック・プログラム
2日間連続・終日/月 x 8回

◆ プログラム受講前と比較した意識・認識の変化

【ものの見方が広がった（世界の中で生きている実感）】

- ▷ 40ヶ国の中で少なくとも半分以上の方々と話す機会を通じ、改めて自身が世界の中で生きている、全ての繋がりの中で生きる場を与えられているという事を実感した。
 - この意識・認識の変化を、ただ自身の為の変化と捉えるのでは無く、まずは経験やスキルを活かせる分野から世界に貢献したい。
（南アフリカの女性がウェブが必要との事、この具体的なニーズを良くきっかけとして、ボランティアとして小さな一歩を踏み出したい）。
- ▷ 大局で物事を捉えることの重要性に気がついた
- ▷ 自分から世界を見るのではなく、世界から自分を見ることができた。
- ▷ 直接、その国の人々と話したことで、それらの国々及びそこで起こっている出来事にリアリティーを感じるようになった。これから先も気にしていく。

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【自分軸や自分の在り方を振り返ることができた】

- ▷ 自分軸、自分の価値観が明確になった。又それを自身の言葉で語れるようになった。
- ▷ 自らの無知を知った。自覚した。リアルを感じる事ができた。
- ▷ 知らないことの方が多いということを改めて認識した中で、自分が今生の人生において何をしていくのか？(どこにフォーカスをおくのか?)を改めて考えた。

【人の重要性を再認識した】

- ▷ Good thing starts from people. 人の大事さを再認識した。
- ▷ 変化を起こすには、仮にそれが大きすぎるテーマや課題でも、想いを持った人の一言や一つの行動がきっかけで、できることが無限にあると希望を持てた。
- ▷ ビジネスの世界におけるnegotiationのテクニックは、それはそれで有効として、人間対人間が全ての基礎となることを改めて実感した。
negotiationにあたっては、まず、相手との信頼関係を築くことが重要。

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

- ▷ 参加メンバー
矢野様、Jensさん、石田先生、佐藤さん、企業参加者の皆さまの人格、参加姿勢が素晴らしく、これらが無くして今回のプログラムは成立しなかったと思う。（逆を想像すればその大事さは想像が容易）
- ▷ CAUXの歴史
CAUXという場を軸に歴史を学ぶ事により、自身の場から感じ取る部分を含めて、歴史をよりリアルな物として学ぶ事が出来た。また、滞在中にインターネットでもCAUXが果たした役割やブックマンさんの活動などを勉強した。
- ▷ 世界基準での考え方
Sustainable Development GoalやRestorative Justiceなど、世界での基準や考え方を知ったのは自分にとって大きな気づきだった。矢野様・イエンツさんの実体験を通じたお話も古典や理論に加え、人間力の観点で自身にとても大きな影響をもたらした。
- ▷ イエンツさんのお話
自分に非がわずかでもあれば、これを素直に認めた上、謝罪することが重要であること

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） ＊続き

- ▷ Mountain Climing
登山（下山）によって自然の普遍性と、大局・小局の捉え方を身をもって知ることができた
- ▷ Ukraine Session：被害者意識から抜け出すことが、未来への第一歩であること
- ▷ 異なること、違うことは良いこと。なぜなら、違う人が手をつなぐことで穴を埋めることができるから。
- ▷ （特に子供、若者への）教育の重要性
- ▷ Dialogue：誰が正しいかではなく、何が正しいか
- ▷ Cauxという場の歴史
- ▷ 祈りのパワー

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） ＊続き

- ▷ 謝罪の重要性
- ▷ 登山
- ▷ 異文化勝負
- ▷ ボランティア
- ▷ ウクライナ、レバノン、アルメリア、南スーダン、ガーナ他、これまでの人生で会話したことがなかった国々の人々と話したこと、また、彼らと一緒にプログラムに参加することを通じて、多くの人がそれぞれの国で目の前にある課題に取り組んでいることを肌で感じたこと。
- ▷ Cauxに50年以上、時には70年という長い年月を通じてCauxを訪れている長老の方々との会話を通じ、Higher-beingの声を聴きそれに従う（= inner voice に従う）ことが最も重要であることを再認識したこと。
- ▷ 日本であまり話す機会がなかった方々(日本人)と深い話をたくさんできたこと。

◆ 今後のビジネスやご自身の人生に活かせること

- ▷ 表面上の話では無く、実際に課題解決したい、前に進みたいという共通ベクトルを持った人々の集まりだった為、今後、知り合った方々との具体的なビジネスや協力関係を一步一步進めていく
- ▷ 世界は信用（信頼関係）で成り立っている。信頼関係が築ければ、自ずとあらゆる問題は、解決に向けて動き出す
- ▷ かかる信頼関係は、自らがアクティブに動くことによって、作り上げていくものである。相手の譲歩を第一に考えてはいけない
- ▷ 本当の意味でのDiversity
- ▷ 着眼大局、着手小局
- ▷ 強い信念
- ▷ 信頼づくり
- ▷ 許容する姿勢

◆ 今後のビジネスやご自身の人生に活かせること

*続き

- ▷ Openess 開いていくこと（自らの価値観に囚われず受け入れた上での判断）
- ▷ 最後は自分（行動するのも決定するのも、相手に委ねたり期待するのではなく、自らの責任とパッションでやること）
- ▷ Long term vision with steady progress
- ▷ Trust building
- ▷ これから先も迷うことはあると思うが、その時はHigher-beingに尋ね、その声に従う、助けが必要なら求める→ その結果、自分にやってきたものをシンプルに取り入れ、やってみる・・・その積み重ねをただ、していくということ
- ▷ 常に、自分に対して正直であるか、自問した上で、他者への配慮を加えた言動をとること

◆ ご自身にとってCauxで過ごした日々の意味は？

- ▶ 生まれてから41年間様々な経験をしてきたつもりではありましたが、ここまで「本質」を集中して考え、そして影響を受ける体験はCAUXでのプログラムが初めてでした。

PCに例えると、アプリケーションでは無くOSのアップデートに相当し、既存の活動・これからの活動全てにおいて一段上のアプローチが出来るきっかけ、気づきを得る事が出来ました。

- ▶ 自分がこれまでに会ったことがないバックグラウンドをもった人々と触れることができたことは、自分の視野・視座を確実に広げ、高めたと考える
(大局)

また、都会の喧騒を離れ、自然の中で過ごした1週間は、自分にとっての原点とゴールとを思い出す良い機会であった (人間性の回復)

- ▶ 自分を見つめ直す
- ▶ 人の縁に感謝

◆ ご自身にとってCauxで過ごした日々の意味は？

*続き

- ▷ 学問なき経験は、経験なき学問に勝る
文字から得た知識は非常に断片的（頭で吸収）
実体験に伴う情報量は、それに比べて大量（体全体で吸収）
それらの知識の一体化をはかれたこと。
そこから（現場から）真理を読み取る機会を得られたこと。
- ▷ Global CitizenとしてのMissionというか役割を誰もが与えられていることに気づくことができた
- ▷ 自分の心の声を聞くこと、そして、そのための時間を持つことを習慣化することができた
- ▷ Cauxのプログラムの素晴らしさを、初めて本当の意味で体感できた貴重な機会でした。
- ▷ 何をしたら良いか？が、とてもシンプルな答えに帰着したことは、私にとってとても大きな意味があり、それをCauxのレジェンドともいべき方々との会話を通じて確認できたことは大きな喜びです。

◆ その他の感想・メッセージ

- ▷ 素晴らしい場所、景色は人の五感に訴えかけます。その様な素晴らしい場の力も課題解決の一翼を担ってきたかと思えます。落ち着いて人生を俯瞰して見る大変有意義な記念週間となり皆様に本当に感謝しております。ありがとうございました。
- ▷ 非常に身のある1週間でした。様々な国の様々な人と触れることができたことはもとより、魅力的な日本人の方々（石田さん、佐藤さん含む）と大いにお話できたことは、貴重な経験でした。ありがとうございました。
- ▷ 語学力ではなく、ここにいる、ここで話す、ここで過ごす、それら全てに意味があり、貴重な経験でした。CRTの皆さんと出会えなければ、この機会を得ることはできませんでした。自分の人生に豊かなページがまた1ページ増えることになりました。ありがとうございました。
- ▷ 今後生きていく上で、大事にしたい軸、また人生のロールモデルに出会うことができ、心から参加させていただいたことに感謝しています。時間を要すると思いますが、日々、積み重ねていくことでロールモデルに近づいていきたいと思えます。
- ▷ Time flies. 早かったです。

CAUX ROUND TABLE